



国際会長 (IP) Wichian Boonmapajorn (タイ)

“Mission with Faith”

「信念のあるミッション」

アジア地域会長 (AP) Edward K.W. Ong (シンガポール)

“Through Love, Serve”

「愛をもって奉仕をしよう」

東日本区理事 (RD) 渡辺 隆 (甲府)

「原点に立って、未来へステップ」

“Stand at the origin and take a step for the future”

湘南・沖縄部部長 (DG) 今城 高之 (横浜つづきワイズメン&ウイメンズ)

「一人ひとりが愛と平和の種をまこう」

横浜クラブ会長 (CP) 金子 功

「クラブの伝統に誇りを、明日に自信を」

“Pride and confidence for the future”

会長 金子 功  
副会長 高杉 治興  
書記 伊藤 誠彦  
会計 古田 和彦  
直前会長 天野 皓司

監事 舟田 正夫  
ブリテン 高田 一彦  
担当主事 青木 一弘

### <今月の聖句>

古田 和彦

兄弟たち、あなたがたは、自由を得るために召し出されたのです。ただ、この自由を、肉に罪を犯させる機会とせず、愛によって互いに仕えなさい。律法全体は、「隣人を自分のように愛しなさい」という一句によって全うされるからです。

(ガラテヤの信徒への手紙5：13, 14)

### 今月のひとこと

#### 「金魚が死んだ」

天野 皓司



パン屋のおやじトラララ  
金魚が好きでトラララ  
大きなカメにトラララ  
泳がせていたトラララ トラララララ

これはパン屋のおやじが飼っていた金魚の死に、大臣や王様までが見舞うという一連の歌の出だしで、その昔少年部で

大流行りしました。ユーモラスで歌いやすく、どこかペーソスを感じさせるものがあって、ずーっと記憶の底にありました。何故今この歌がというと、我が家で飼っていた金魚が死んで、先ず頭に浮かんだのがこの歌だったというわけです。

何年前になるのでしょうか。今中学2年になる孫娘の就学前の事だから、七・八年ぐらい前にはなるのでしょうか。どこか

の縁日で金魚すくいのお土産に、金魚をいただきました。可愛い孫の手前断るわけもいかず、金魚を飼う羽目になりました。早速金魚鉢を買いに行きましたが、どんな方針で飼うのかと店員に聞かれて戸惑った事を覚えています。夜店でもらったちっぽけな金魚が、鉢一杯に大きく成長し、店員の言わんとすることが分かった次第です。金魚の世話はもっぱら小生の役割で、餌をやったり掃除したり結構大変でした。そうこうするうちに、金魚鉢に近づけば歌にあるようにバチャバチャはね、水槽に手を入れればすり寄ってくるようになりました。外出から帰れば、真っ先に金魚の様子を見るようになっていました。金魚に対して愛おしい気持ちが湧いてきたのは、思わぬ発見でした。

忘れもしません、今年の春のことです。三日ほど家を空けて帰ったのですが、金魚鉢に金魚が見当たりません。一瞬何が起こったのか頭が真っ白になりましたが、床を見て愕然としました。なんと金魚が横たわっていたのです。何ら変わった様子はなく、鉢に戻せば今にも泳ぎだしそうな感じでした。今まで一度だって、鉢から飛び出すような事はありませんでした。空腹のあまり、鉢から飛び出してしまったのでしょうか。薄いプラスチック板でふたはしてありましたが、大きな金魚には何の役にも立たなかったようです。孫たちにも報告し、庭先に埋葬しました。未だに外出から帰ると、「金魚はどうしてるかな？」との思いに駆られます。

昨秋、野菜作りの仲間からお孫さんと、カブトムシの幼虫をいただきました。カブトムシは初めてでしたが、冬を越し成虫になったので、かの金魚鉢に移して飼い始めました。今度は外泊する時は、いつも金魚鉢と一緒にです。金魚にしてもカブトムシにしても、意図して飼い始めた訳ではありません

んが、飼ってみると愛おしいものです。カブトムシは元気に育ったら、野に放してやろうと思っています。

## <2015年7月例会実績>

在籍者	出席者	出席率	B F
18名 (功労 会員1 名を 含む)	メン 14名 メネット 3名 コメット 0名 ビジター 7名 ゲスト 1名 合計 25名	76 % (メーキャップ 名を含む) 前月修正出席 率	今月分 切手 0g 現金 0円 年度累計 切手 2,443g 現金 0円

## <8月の行事予定>

### CS (Community Service)

日	曜	時間	行事内容	場所
7-9	金	10:00	AIDS文化フォーラム In 横浜	県民センター
27	木	17:00	横浜クラブ第二例会	驛の食卓
27	木	18:00	横浜クラブ第一例会 兼 納涼会	驛の食卓

## <7月例会報告>

### 古田 和彦

日時：7月9日(木) 18:30~20:30

場所：中央YMCA 501号室

出席者：青木、天野、伊藤、今村、大江、押川メン・メネ、金子メン・メネ、齋藤、高杉メン・メネ、高田、田口、成瀬、舟田、古田

ゲスト：三上氏

ビジター：今城部長、林書記、岡田会計、浦出会員増強事業主査

辻、鈴木、横田(つづきクラブ)

今回は横浜クラブ14-15年度総会及び15-16年度キックオフ例会がメインであるが、湘南沖縄部部長公式訪問、2名の入会式と盛りだくさんで、かつ、嬉しい例会となった。定刻、伊藤ワイズの司会により開始。金子新会長による開会点鐘と挨拶、全員でワイズソングを歌い、ワイズの信条を唱和する。次いで、田口ワイズにより今月の聖句が朗読され、コメントを受けた。ゲスト・ビジターとして上記の方々を金子会長が紹介した。三上氏はかつて当クラブに在席された方で今後期待される。今例会には部長が公式訪問として来られ上記のように部役員も多く同席くださる。部長から部長主題「一人ひとりが愛と平和の種をまこう！」を基に本年度の活動方針と計画を伺う。田口ワイズの祈祷、食事の後、総会となる。



総会の議長には金子会長が恒例により選出され、以降、金子議長により進められる。まず、本日の出席者は14名、委

任状3名で、会員数18名のうちの3分の2(12名)以上の出席があり、定足数を満たし総会の成立が宣言された。次いで、議事に入り、第1号議案 14-15年度事業報告、第2号議案 14-15年度事業報告(各事業)、第3号議案 14-15年度会計報告が資料により天野前会長等から報告され、承認された。特に、YMCA支援事業として2年目の取り組みとなった「第2回横浜YMCA日本語スピーチコンテスト」は、横浜YMCA創立130周年事業の一環として行われたこと、また、部から補助金を受けることができたことが報告され、今後とも当クラブのフラグシップイベントとして継続したいとの期待を示された。続いて、第4号議案 15-16年度クラブ役員・事業委員の確認、第5号議案 15-16年度活動方針と事業計画、第6号議案 15-16年度予算案が金子会長等から上程され、いずれも承認された。金子会長からは、当年度のクラブ主題は、「クラブの伝統に誇りを、明日に自信を」としたこと、YMCA理解の推進と協力支援事業に積極的に参加すること、会員相互の理解と親睦を深めること、ワイズに相応しい活動を企画立案して地域社会に貢献したいとの抱負が述べられた。最後に第7号議案「横浜クラブ会費・献金等に関する施行細則ヤングメンバーに対する会費・献金等の特例」を承認し、その他の提案事項は今後検討することとした。なお、今年度の会費徴収に当っては、CS献金等は特別に徴収せず、会費の中から支出することを改めて確認した。以上により総会は終了した。

司会を再び伊藤ワイズとし、入会式を行う。蝋燭に照らし出された荘厳な中、今城部長、高杉功労会員の立ち会いの下、大江浩(おおえひろし)氏の入会式、齋藤宙也(さいとうちゅうや)氏の熊本スピリットクラブからの転入会式を行った。両者とも金子会長の問いにしっかりと誓いの言葉を述べ、入会は承認され、それぞれ抱負を述べられた。



次いで、キックオフ例会を行う。8月例会は例年通り納涼例会とし、8月27日(木)他クラブにも参加を呼び掛けて「驛の食卓」で行うこと等が報告された。ハッピーバースデーは今城部長が該当し、皆で高らかに歌い誕生日を祝った。午後8時30分閉会点鐘となる。ロバ献金は14,500円。

なお、そののち、ゲスト・ビジターと共に20名の参加を得て懇親会を行い、楽しいひとときを過ごした。

## 第1回湘南・沖縄部役員会・評議会報告

### 金子 功

日時：2015年7月25日(土) 役員会(13:30~14:40); 評議会(15:00~17:00)

場所：横浜中央YMCA 501号室

会議の設営は見事であった。会議室の一角には湘南・沖縄部の部旗が、又、事前に確認された出席者数に応じた机が配

置され、出席者の役職、所属を明記したネームプレート、並びに当日用の会議資料「第1回役員会・評議会ワークブック」が各出席者の席に配布されていた。新年度を迎える今城部長以下部執行役員の意気込みが会議開始前から感じられた。

役員会は評議会を控えての会議のため、部則に従って役員会での承認事項中心に協議、提案されていた4号議案を除きすべて承認。4号議案は部長提案によるもので「部会及び部の行事に関して実行委員会を設置する」ものであったが部役員会が十分機能するとの考えから提案は取り下げられた。

評議会は林部書記の司会により、従来の通り開会点鐘、ワイズソング、ワイズの信条、聖句朗読・祈祷を以て開始された。ワイズソング唱和はCDによる伴奏つきであった。今回は第1回目の評議会とあって、協議に入る前に各クラブの出席者の紹介が求められた。議案は、7項目(①2014~15事業報告、②2014~15決算・監査報告、③2015~16事業計画(含む各事業主査報告)④2015~16予算案、⑤監事選出⑥次年度次期部長選考委員会、⑦部会実行委員会に関する件)を協議し7号議案を除き特段の議論もなく承認された。7号議案は、役員会でも協議されたが「役員会」が「実行委員会」を代替することで合意し7号議案は取り下げられた。

途中から出席された田口総主事からは、横浜YMCAの近況が報告された。監事講評では、加藤監事より当部に沖縄が加わった経緯の説明があった。

最後に集合写真の記念撮影があり定刻の17時に終了した。横浜クラブからの参加者：天野、金子、田口、古田

評議会終了後には3,000円の会費で中央YMCA近隣の「唐家村」で懇親のひとときをもった。参加者18名。

## 「新入会員紹介」



### 大江 浩

7月に横浜クラブに入会させて頂いた大江浩と申します。神戸YMCAにて22年、横浜YMCAにて4年、J O C S / 日本キリスト教海外医療協会で9年を経て、本年4月より日本YMCA同盟にて法人事務局長を拝命しました。

私とワイズとの出会いは、神戸ポートクラブに遡ります。以来約25年間、主に担当した国際協力活動で、また災害被災者支援他様々な機会にワイズの方々から大きな励ましとお支えを頂きました。言い尽くせぬ感謝の気持ちで一杯です。

この度、導きにより、再びワイズのコミュニティに招かれました。平和と共生社会の実現のためにワイズの皆さんと共に歩みなさいと神様から声をかけて頂いたのだと思います。

ご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

## 「新入会員紹介」

### 齋藤 宙也



私は、小学4年生から平塚市で育ち、平塚江南高校を卒業しました。2010年に司法試験に合格し、その年の暮れから、熊本で司法修習に行き、縁あって弁護修習先の事務所で弁護士登録

後も働くことになりました。

約3年間勤務し、今年の4月にこちらに戻り、独立しました。以前の勤務先の所長弁護士が、30年余り熊本クラブに所属しており、夏と年末の例会に、**★ 強い義務感をもとう** 義務その延長で、昨年4月に熊本スピリットクラブのチャーターメンバーとなり、正式にワイズに入会しました。

横浜クラブにおかれましては、私の突然の移籍を快く受け入れていただきまして、ありがとうございます。今後ともよろしく願いいたします。

## 「ホノルル2015」

### 今村 讀



ウクレレの祭典第45回ウクレレフェスティバルは7月19日(日)ワイキキのはずれのカピオラニパークで行われた。常夏の太陽がきらめき、青い空・紺碧の海・ダイヤモンド

ドヘッドを目前に大観衆が集い熱気の中くりひろげられるウクレレの競演は最高だ。世界からのウクレレプレイヤーによるそれぞれの奏法によるパフォーマンスは時のたつ事を忘れる。

今年で20回の連続出演であったがよくも続いたものだ。JAZZのNOから「ALL OF ME」と「BEI MIR BIST DU SCHON」を全力投球で演じ大喝采を浴び満足した次第だ。

例年フェスティバルの夜カイトクラブの皆様が歓迎会を開いてくれるが今年はカイトYMCAの中庭でミーティングの後、皆様御自慢の料理をいただきながら友情を深めた。メンバー構成がかなり変わっており20代、30代のYMCAのスタッフが多くなっていた。ヌアヌクラブのヒラナカさんのご家族とは長い付き合いで今年も心からの歓待を受けた。ご夫妻共私の同年輩で気が合い、幼稚園の頃から知ってのご自慢の孫のスカッター君はスタンフォード大学を無事卒業し、カルフォルニアの大企業に就職したとの事で喜んでいる。

多くの方々のホスピタリティーに感謝しながら大好きなホノルルにアロハした。

## 「AIDS文化フォーラム in 横浜」

### 金子 功

第22回「AIDS文化フォーラム in 横浜」が8月7~9日にかがわ県民センターで開催された。(運営事務局は横浜YMCA、組織委員長は横浜YMCA総主事田口総主事)。今年のテーマは、「今こそ、ともに生きる」で当事者が生きやすい社会になっているかを検証し、「ともに生きる」を実現するために何が求められているかを展望するフォーラムであった。

本年もオープニングの全体プログラムに加え50以上の関係団体が展示やセミナーを通して、それぞれの活動を紹介した。横浜YMCAもボランティア in タイの参加者が「タイ

のこどもたちとHIV/AIDS」を、そしてACTのユースが、「世界がもし100人の村だったら—HIV/AIDSバージョン」を発表した。

今回、しばらく中断されていたワイズ東日本区からの支援が再開されることになった。TOFによるFF基金の有効な支援先として田中博之直前理事から提案されたもので10万円の寄付が寄せられた。

東日本区からの支援の中断はUGP事業が第1期のHIV/AIDS事業から第2期のマラリア撲滅関連事業(RBM)に移行したことによるもので、中断後は、湘南・沖縄部部長が運営母体の組織委員として加わり20,000円のキーマネーを拠出してきた。湘南・沖縄部はボランティアとしても協力した。AIDS文化フォーラムは今や京都、佐賀、陸前高田でも開催されるに至っている

## 第二例会報告

高田 一彦

日時：7月23日(木) 17:00~18:30

場所：横浜中央YMCA 501号室

出席者：青木、天野、伊藤、金子、高田、古田

協議・確認・検討事項

1) 行事予定

7/25 部役員会・評議会

7/31~8/2 アジア大会(京都) 金子・高田

出席予定

8/7~9 AIDS文化フォーラム in 横浜

2) キックオフ例会・総会の反省

3) 納涼会の確認 (驛の食卓にて18時より)

プログラム、司会者、会費、参加者、招待者等。

4) 横浜クラブ85周年(12/15)について

12/10(木)の例会日に記念札押・例会を持つが、対外的な記念式典等は行わない。

5) 今後の卓話予定

9月：横浜Y日本語学科留学生(ベトナム)



担当主事 青木 一弘

### ■第18回横浜YMCAインターナショナル・チャリティーランのご案内

今年度も、障がいのある子ども達を支援するために、みなとみらい21地区臨港パーク内で、チャリティーランが開催されます。現在、参加チームを募集しております。

日時：10月17日(土) 9:45~(開会式)

会場：みなとみらい21地区臨港パーク内特設コース

参加費：1チーム 5万円

申込締切：9月30日(水)

### ■JICA研修員ホームビジット家庭募集!

毎年、海外90カ国からの研修員がJICA横浜に来て日々研修をしています。JICA横浜-YMCAデスクでは、国際協力への第一歩でもある日本理解に繋げるべく様々な地域交流プログラムを行っています。つきましては、ボランティア

で彼らを家庭に受け入れ、小さな国際交流を育んでいただけるホストファミリーを募集しています。

期間：2015年8月22日(土)

※その他の土曜日も可能性あり

別日程でのビジットや宿泊を伴う(ホームステイ)

でお受け入れをご検討いただける方もぜひご連絡ください。

対象：外国人研修員 成人/20歳代~40代の男女

受入条件：

①食事：当日の昼食

②ご自宅訪問とコミュニケーション

③受け入れ期間：土曜日 日中 10時~15時30分

④地理的条件：JICA横浜から1時間以内。

★受け入れ人数は基本的に1家庭につき1名または2名。

★当日研修員交通費・食費補助として1人1日2,000円を予定しています。

<お申込み・ご登録>

JICA横浜-YMCAデスク TEL. 045-662-3271

暑さ厳しき折、体調を崩されませんようお元気で過ごしてください。

### 8月例会兼納涼会

日時：8月27日(木) 18:00~20:30

場所：驛(うまや)の食卓

司会：遠藤ワイズ

1. 開会点鐘および挨拶 ..... 金子 会長
2. ワイズソング・ワイズの信条 ..... 全員
3. 今月の聖句 ..... 古田ワイズ
4. 食前感謝 ..... 古田ワイズ
5. 乾杯 ..... ワイズ
6. 食事・歓談  
出席者自己紹介  
ウクレレ演奏 ..... 今村ワイズ、他
7. ビジネス・報告 ..... 金子会長
8. *Happy Birthday* : 田口努(6), 田口弥生(11)  
押川沢江(21), 神村浩正(31)
9. 閉会点鐘 ..... 金子会長

例会報告：天野ワイズ

### 9月の行事

日	曜	時間	行事内容	場所
1	火	19:00	第66回Y-Y協議会	中央Y
10	木	18:30	横浜クラブ第1例会	中央Y
23	水	10:00	会員スポーツ大会	フェリス
24	木	17:00	横浜クラブ第2例会	中央Y
26	土	16:00	湘南・沖縄部部会	ワークピア

当ブリテン及び横浜ワイズメンズクラブに関するお問い合わせは横浜YMCA青木一弘にご連絡下さい。

メール [aoki\\_kazuhiro@yokohamaymca.org](mailto:aoki_kazuhiro@yokohamaymca.org)

電話 046-641-5785